

# はむら輝ニュース Vol. 2

市では、「第五次羽村市長期総合計画後期基本計画」を推進するため、組織や施策の枠をこえて横断的な視点を持った取組みとして「はむら輝プロジェクト」を定め、7つのプロジェクトに取り組んでいます。

はむら輝ニュースVol.2では、東京2020大会を契機とするレガシー創出プロジェクト「レガシー創出で輝くまち」に沿った取組みを紹介します。

## レガシー創出で輝くまち

～「第70回羽村市市民体育祭」へ

オリンピックとパラリンピアンを招致しました～

オリ・パラ気運の醸成  
+  
スポーツの振興

10月8日、リオ2016オリンピック 陸上競技男子マラソン カンボジア代表の猫ひろし（瀧崎邦明）選手と、リオ2016パラリンピック 陸上競技女子400m 銅メダリストの辻沙絵選手が「第70回羽村市市民体育祭」に参加しました。

当日は、各種競技種目のスターターや、リレーなどへの出走、そして写真撮影会などで、市民の皆さんと交流しました。こうした取組みにより、市民のスポーツへの関心や、健康づくりに関する意識の高揚を図り、体力・運動能力の向上につなげることや、パラリンピック競技種目の紹介などの普及啓発活動により、障害に対する理解の促進や障害者スポーツの振興を図り、東京2020大会の気運醸成と障害のある方の社会参加の拡大につなげていきます。

市ではこの取組みを含め、次の5つの柱建てによる基本方針を定め、東京2020大会を契機とする次世代へ誇れるレガシー（有形・無形の遺産）を創出するための取組みを推進しています。

- 1 連携・協力による大会気運の醸成
- 2 市民スポーツの振興及びスポーツを通じた健康づくりの推進
- 3 まちの魅力の発信及び産業の活性化
- 4 文化芸術の振興及びグローバル人材の育成
- 5 来訪者にもやさしいまちづくりの推進



▲猫ひろし選手と辻沙絵選手



### 【問合せ】

羽村市企画政策課企画政策担当  
電話：042-555-1111（内線314）  
ファクス：042-554-2921  
メール：s101000@city.hamura.tokyo.jp